

アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.112/2016年5月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第112号をお届けします。

【1】2016年度アンテナ・伝播研究専門委員会の体制

電子情報通信学会の活動年度は6月に開催される総会から始まります。これに伴い、アンテナ・伝播研究専門委員会も新体制に替わります。新しい体制での2016年度上期研究専門委員会は6/9(木)に機械振興会館で開催されます。来年度のAP研執行部メンバは以下の通りです。

委員長 (留任) 長 敬三 千葉工業大学 副委員長 (留任) 岩井 誠人 同志社大学 幹事 (留任) 西森 健太郎 新潟大学 今井 哲朗 幹事 **NTTドコモ** (新任) 竹村 暢康 幹事補佐 日本工業大学 (新任)

【2】退任執行部メンバのご挨拶

今月の研究会でこれまで執行部メンバとして活動されてきた中野幹事および木村幹事補佐が退任されます。お二人の退任メッセージをご紹介します。

中野雅之 幹事

今月で、AP研幹事を退任するKDDI研究所の中野です。これまで、特に大きなけがや病気もなく、見習い期間を含め連続30か月のAP研と第2種研のAMT研に、最初から最後まですべて参加させていただきました。またAWAPなどの海外開催の2種研も多く参加させていただきました。

この2年間に特に力を入れたこととして、多くの皆様方にAP研に参加いただき、活動を盛り上げていくためにパラボラ館見学(山口)、アンテナ工場見学(DKKタイ・アユタヤ)、テストラボ見学(拓殖大)などのテクニカルツアーを企画させていただきました。また企業特集オーガナイズドセッションを継続し、学生特集、新発表形式などの企画もさせていただきました。研究会場は、心を洗う橿原神宮近くの奈良や最北端の街の稚内、投稿数が100を超えたプレISAPの沖縄、被災地復興のいわきハワイアンズ、18年ぶりとなる山梨などのユニークな会場開催をさせていただきました。我ながら毎月、AP研開催が近づくと、皆様に満足いただける運営ができるかどうか、とてもワクワクし、モチベーションが高まりました。

これらが実施できたのも、関係皆様のおかげです。新井前委員長には名誉ある役目を賜り、そして榊原前幹事には丁寧なご指導をいただき、さらに現執行部の皆さまには真剣にAP研の運営ごとに相談にのっていただいたためです。そして、ご支援いただきましたAP研専門委員、AP研に参加いただいた一般の方々含め皆様のおかげで、不手際などもあったかと思いますが、最後までやり抜くことができたかと思います。改めて御礼申し上げます。

ちなみに、昨年度初めに橿原神宮でAP研執行部代表として引いたおみくじは中吉で「我儘勝手な気を起こして色や酒に溺れるな」との記載がありました。心がけたおかげか、このたび無事、AP研の幹事役を全うできたかと思います。どうもありがとうございました。

木村雄一 幹事補佐

2年間にわたり幹事補佐を務めさせていただきました埼玉大学の木村です。多くの方々のご支援・ご協力をいただきまして、なんとか任期を終えることとなりました。AP研の活動は毎月の一種研だけでなく、ワークショップや海外開催の二種研など非常に多岐に渡っています。これまでは一参加者として参加する立場でしたが、裾野の広いAP研は専門委員、各種委員の皆様をはじめとして、多くの方々のご尽力によって支えられていることを幹事補佐の立場として改めて実感しました。この場をお借りしまして、皆様に厚く御礼を申し上げます。

幹事補佐の担当業務は歴代の幹事補佐の先生方が築かれた土台のおかげで、効率的に仕事ができるように整備されています。自分はそのようなレールの上を走っていたに過ぎません。前幹事の榊原先生はAP研の

アジア各国との連携にご尽力されています。また、幹事を退任となる中野様は最北の稚内から沖縄での盛大な4研究会併催、山口KDDIパラボラ館見学会、AP研北関東シリーズなど、一種研を盛り上げようと熱い思いにあふれていました。現幹事の西森先生は昼の研究会は言うに及ばず、夜の毎月起こる本当にやさしいマルチユーザーMIMO[1]に至るまでアクティブに活動されています。このように献身的なご尽力をされる幹事の方々を幹事補佐として少しでもお手伝いできるようにと微力ながら心掛けてきたつもりですが、力及ばず十分に任務を果たせなかったこともありました。この間、ワークショップの講師も務めさせていただきましたが、スケジュール通りに開催できず、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

最後に、執行部のメンバとしてご指導くださいました前委員長の新井先生、現委員長の長先生、副委員長の岩井先生、幹事の榊原先生、中野様、西森先生に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。 文献:[1] AP研からのお知らせNo.73, No.74, No.87.

【3】技報電子化・研究会参加有料化トライアルにおける年間登録のお願い

AP研では4月より通りの新しい研究会運営トライアルに沿った研究会運営を開始しました。このトライアルでは研究会への参加が有料となります。トライアルの詳細についてはAP研HPトップのWhat's Newにリンクがありますのでご参照下さい。トライアルに関連して3月末より年間登録受付が開始されています。AP研の年間登録価格は6480円(税込)です。学生員(学生の学会会員)は、アンケートに答えることにより実質的に無償で年間登録可能です。AP研への年間登録を是非お願い致します。

【4】今後のAP研開催案内

6月は9(木)に東京・機械振興会館にて開催します。一般講演の他に、今年3月にご逝去された名古屋工業大学名誉教授・AP研顧問の稲垣直樹先生の追悼講演が行われます。7月は北海道です。21(木)・22(金)に小樽港マリーナにて開催致します。7月AP研はSAT研およびSANE研との併催であり、また、伝搬オーガナイズドセッションが予定されています。続く8月は九州で、22(月)・23(火)に長崎大にて開催します。8月AP研への投稿申込締切は6/10(金)です。それぞれの詳細についてはAP研HPをご参照ください。6月は東京エリア、7月は北海道エリア、8月は九州エリアと全国各地で開催されるAP研に是非ご投稿・ご参加下さい。

【5】副委員長の戯言

本記事を執筆しているのは4/20前後で、熊本・大分両県エリアで大地震が発生した直後です。亡くなられた方、負傷された方、被災された方にお見舞いを申し上げます。今後のスムースな復興をお祈り申し上げます。中野さん、木村先生、大変お疲れ様でした。お二人を含め、最近のAP研幹事・幹事補佐のお仕事ぶりはホントに素晴らしいです。全身全霊でAP研業務に挺身される様には目を見張ります。それに比べると自分の幹事時代はのんびりしていたなぁ、と思います。今後もAP研運営についてご助言賜りますようお願い致します。

さて、4月から有料化研究会のトライアルが始まりました。いろんな問題が発生することかと思いますが、AP研では技報電子化をポジティブに捉え、この研究会運営方法をより効果的・効率的に実施するために貢献していきたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。トライアル実施内容についてアンケートを行う予定ですが、それ以外にもお気づきの点があれば執行部まで是非ご連絡下さい。また、トライアルに関連して、この「AP研からのお知らせ」をどのようにするか、を執行部内で議論しています。これまでこのお知らせは月に一度の技報末尾に掲載することにより、AP研内の会報・広報誌的な目的で利用してきました。しかしながら、技報冊子体が廃止されるとその位置づけを失います。本来このような広報機能はAP研HPがもつべきものであり、広報はHPに集約してお知らせは廃止することも考えられます。他方、お知らせには、本戯言に代表されるようなコラム的な記事も存在しており、一部の方からはこの部分について強い支持があるとも聞いています。完全電子化まではまだ時間があるので今後議論していきますが、この点についてもご意見頂けますと幸いです。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 岩井誠人(同志社大)

E-mail:ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/

ISAP Archives: http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/

